

SWD-CT10 導入記(2) —DAC-1 との組み合わせ(1)—

1. 始めに

SWD-CT10 の特性を知る手始めとして、今回は使いなれた DAC であるインフラノイズ社の DAC-1 との組み合わせで、WD-CT10 の SRC 機能の確認を行ってみたいことにしました。

2. 試聴の方法

まずは、SWD-CT10 には外部クロックを供給せず、DAC-1 のアナログ出力を DA-3000 に入力し、DA-3000 から MYTEK DIGITAL 192-DSD への SDIF から伝送により再生します。DA-3000 ではアナログ信号を DSE, 5.6MHz に変換するよう設定しています。

SWD-CT10 → DAC-1 → DA-3000 (44.1KHz) → MYTEK DIGITAL 192-DSD
(DA-3000 からクロック供給)

ここで DA-3000 には ABS-7777 から 44.1KHz の外部クロックを入力します。



3. SWD-CT10 の SRC 機能の確認結果

SWD-CT10 では SRC ボタン操作によって、44.1KHz から順に 48 KHz → 88.2 KHz → 96 KHz → 176.4 KHz → 192 KHz とアップサンプリングをさせることができます。このようにしてアップサンプリングしながら試聴していきますと、1 段回のアップではおおきな違いは分かりにくいのですが、2 段回上げると音質が変わってくるのが分かり、DA-3000 で DSD に変換して聴いていることもあって 96KHz くらいから相当にクオリティの高い音を聴かせてくれました。

4. まとめ

SWD-CT10 の SRC 機能によるアップサンプリングの効果が認められました。後段に DA-3000 で DSD 変換し、SDIF 伝送で受け渡した MYTEK DIGITAL 192-DSD で DA 変換を行うことを加えていることもあって、SWD-CT10 に外部クロックを入れなくても、SWD-CT10 の価格を考慮すれば、アップサンプリングだけで相当に満足度の高いレベルに達することが分かりました。

以上